

# 桐生西ロータリークラブ週報



2016-17年度RIテーマ ジョンF. ジャームRI会長

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155  
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777  
 会長 前原榮一 幹事 東郷 学 クラブ会報・雑誌担当 新木明夫  
 広報活動委員長 山形 剛 委員 鳥嶋隆一、高森 勉(歴史編集・IT-CICO担当)、池末晋介

No. 2063

2017年2月10日発行

## 第2188例会 (2017・2・3) 報告

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. 四つのテストソング
4. 来訪者紹介
5. 米山功労者感謝状授与
6. 会長報告

7. 幹事報告
8. 食 事
9. 委員会報告
10. 施設優良職員表彰
11. 点 鐘

例会終了後、定例理事会&第1回IM実行委員会開催

### ◆ピジター

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| (福)希望の家 障害者相談支援センター希望の家 | 田島 明美様  |
| 希望の家療育病院                | 前原 清 様  |
| (福)チハヤ会 は一とふるチハヤ        | 藤尾 麻由様  |
| 桐生市社会福祉協議会 桐生みやま園       | 川島 文子様  |
| 阿久津伊津美様                 | 阿久津伊津美様 |
| 高田 成幸様                  | 高田 成幸様  |
| (福)広済会 つつじヶ丘光の園         | 腰塚 映江様  |
| 桐生市新里町福祉作業所             | 諸星 亜弓様  |
| (福)三和会 エルシーヌ藤ヶ丘         | 根岸 大海様  |
| セルプわたらせ                 | 根岸有美子様  |
| (福)桐の実会 わたらせ養護園         | 浅田由美子様  |

### ◆米山功労者感謝状授与

〈第1回〉  
佐々木綾子さん



トから天沼会長エレクト宛に絵葉書が届いています。次年度のRIテーマにつきましては、本日配布しましたクラブ会報に載っています。

### ◆幹事報告 東郷(学)幹事

- ◇ロータリーの友2月号を配布致しました。
- ◇ガバナー月信2月号が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇武井善作会員よりニューモラルNo.570を15部頂きました。
- ◇(株)クマヒラ、(株)熊平製作所、会長熊平雅人様(東京RC)より『抜萃のつづりその七十六』を全会員にお贈り頂きました。
- ◇ロータリー財団と米山奨学の確定申告用の領収証一式を該当者に配布致しました。
- ◇2月のロータリーレートは現行同様1ドル116円です。
- ◇下記のものが届いております。

- ・(福)三和会主催の公開セミナーのご案内
- ・オクトンより次年度RIテーマ幕等の注文書
- ・フジマキネクタイより次年度ロータリーカタログ
- ◇例会変更のお知らせ  
 桐生赤城RC 2/21 伊勢崎南RC 2/21、2/28(休)  
 太田RC 2/9、2/16 他5RCより
- ◇クラブ会報が到着しています  
 桐生RC 1/16、1/23 桐生赤城RC 1/17、1/24  
 桐生南RC 1/11、1/18 桐生中央RC 1/19、1/25

- ### ◆食事メニュー 1115キロカロリー
- ごぼうサラダ、鯖の味噌煮、鶏団子のカレースープ、ほうれん草と海老の白和え、香の物、白飯、一口小菓子

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

- #### ◇出席報告 早川出席担当
- 総数59名(免除者11名の内9名出席の為2名を除く)  
 出席率対象者57名、出席率対象者出席人数40名  
 欠席者17名(内前メイク4名) 出席率77.19%  
 前々例会修正出席率93.10% (最終欠席者4名)

#### □拠金委員会

#### ◇ニコニコBOX 山同拠金委員

施設優良職員表彰の皆様、おめでとうございます  
 前原君、家住君、金子君、天沼君、  
 新木君、栗原(秀)君、阿左美君  
 藤尾さん、川島さん、おめでとうございます 石戸君

### ◆会長報告 前原会長

1. 本日は我がクラブの伝統的な事業『施設優良職員表彰』で、今回で30回目になります。表彰された方は延べ360名程になります。ロータリーの職業奉仕の理念を高めるよう、継続して行っています。
2. 先週の坐禅例会では坪井副会長、SAAさん、クラブ運営の皆様大変お世話になり有難うございました。また、RA蕎麦打ち体験例会では阿左美ガバナー補佐に多大なるご協力をして頂きました。参加して頂いた関係ロータリアンにもお礼を申し上げます。
3. 次年度のRIテーマは『ロータリー：変化をもたらす』(ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)に決定しました。また、1月15～21日迄サンディエゴの国際協議会に出席されていた田中ガバナーエレクト

阿左美さん、お世話になりました  
天沼さん、お世話になりました  
妻のぬり絵展の鑑賞ありがとう  
節分2025年から2月2日になるようです  
節分です。豆まきしますか？家ではします 佐々木さん  
恵方巻き、全く馴染み無いなあ。豆まきかな節分は！野田君

小林(恵)君  
津久井君  
栗原(幸)君

◇ロータリー財団 井本抛金委員長

施設優良職員表彰の皆様、おめでとうございます  
阿左美君、青山君、霜村君、天沼君、石戸君、  
野田君、栗原(秀)君、乾君、小林(恵)君  
阿左美ガバナー補佐そば打ち有難うございました 前原君  
節分です。豆まきしますか？家ではします 佐々木さん  
本日は節分です。皆様に福がきます様に (鬼は外、福は内)  
節分、立春と続きますね  
マティス米国国防長官来日さてどうなることやら？ 家住君  
休みが続いてすみません 津久井君

◇米山BOX 河内米山BOX担当

施設優良職員表彰の皆様、おめでとうございます  
阿左美君、栗原(幸)君、津久井君、  
野田君、霜村君、小林(恵)君、石戸君  
本日表彰された方々御苦労様です。今後も頑張ってください  
坪井副会長、坐禅例会とそば打ち有難うございました  
節分です。豆まきしますか？家ではします 佐々木さん  
立春これから暖かくなってくるといいですね 青山君  
恵方巻きを食べる日です。今年はみずのえ北北西です 新木君

□会 計 小林(恵)会員

会計が欠席の為、代理で本日配布されました確定申告用の寄付金控除の領収書について説明致します。ロータリー財団は昨年1～6月分と7～12月分の2枚、

米山奨学は普通寄付金(年会費から拠出)と特別寄付金の2枚に分かれています。ご確認下さい。

□広報活動委員会

◇クラブ会報・雑誌

新木クラブ 会報・雑誌担当

ロータリーの友2月号の紹介をさせていただきます。今月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」です。そして2月23日はロータリー創立記念日です。今月号の友誌の表紙が少し変わっている事にお気づきでしょうか。創始者ポール・ハリスと、創立時のメンバー4名の写真で表紙の表・裏を飾っています。

それでは、横組11頁から「ロータリー財団100周年」を祝うの特集の中に伊勢崎南RCの報告が掲載されています。続いて16頁からはエンド・ポリオ・ナウの活動報告の中で栃木西RCの報告があります。次に27頁の「ようこそロータリー」のコーナーに、ロータリー創立記念日に因んで「ロータリーが誕生したころ」と題して「友」の編集長が寄稿しております。横組最後の34～35頁の「ガバナーのページ」で足利わたらせRCの栃木ガバナーの「ロータリーの原点に戻る」と熊谷RCの前嶋ガバナーの「クラブとは、例会とは」のタイトルでお二人の記事が載っています。

縦組では、13頁の「友愛の広場」で足利東RCの石井さんが例会卓話の呼び方について提言されています。(外部卓話を招待卓話にしてはどうか等) また、20頁からの俳壇・歌壇でも館林RC、伊勢崎RCの会員の投稿あります。そして31頁の「ロータリー・アット・ワーク」のコーナーの最後の方に、2840地区渋川RC創立60周年記念事業の報告が掲載されています。

今月号は特に近隣の地区・クラブの報告や、会員の寄稿・投稿を紹介してみました。

他にもたくさんの意義のある記事が掲載されております。是非ご愛読をお奨め致します。

第30回 施設優良職員職業奉仕賞表彰 挙 行



司会進行および趣旨説明

職業奉仕担当 家住慧路君

本来であれば職業奉仕月間である1月に挙行すべきですが、プログラムの関係で本日開催させていただきます。被表彰者の皆様には大変お忙しい中、各施設長様のお計らいによりご出席頂きまして、改めてお礼を申し上げます。

今回でこの表彰も30回を迎えました。当クラブのチャーターメンバーである金子福松バスト会長が職業奉仕委員長であった時にこの事業を始められました。

それでは、本表彰の趣旨を簡単にご説明致します。今から約29年前の1986年(昭和61年)10月24日の例会で第1回が挙行されました。区域内の6つの障害者施設から、毎年、優秀な職員さんを2名づつ推薦して頂き、例会へご招待し、会員みんなで歓迎して、昼食を共にし、表彰し、記念品を差し上げて、日頃の労をねぎらう、という事を趣旨としております。1996年の第10回に至った際には、地区から名誉ある『意義ある業績賞』という賞を受賞しました。また、第1回目の時、この表彰にご賛同いただいた、わたらせ養護園の当時の施設長様・清水俊衣先生にお越し頂いて、今でもクラブで語り継がれる感動的な卓話をして頂きました。

清水先生は、平成26年5月31日、享年98歳でご逝去されました。本日の施設優良職員表彰に際しまして、謹んで感謝の気持ちを捧げご冥福をお祈り申し上げます。

(清水俊衣先生の卓話の内容は4頁に記載)

受賞者の皆様

社会福祉法人希望の家	障害者相談支援センター希望の家	田島 明美様
"	希望の家療育病院	前原 清 様
社会福祉法人チハヤ会	は一とふるチハヤ	藤尾 麻由様
"	"	川島 文子様
社会福祉法人桐生市社会福祉協議会	桐生みやま園	阿久津伊津美様
"	"	高田 成幸様
社会福祉法人広済会	つつじヶ丘光の園	腰塚 映江様
"	桐生市新里町福祉作業所	諸星 亜弓様
社会福祉法人三和会	エルシーヌ藤ヶ丘	根岸 大海様
"	セルわたらせ	根岸有美子様
社会福祉法人桐の実会	わたらせ養護園	浅田由美子様
"	"	木村 圭介様





受賞者の皆様(左から):

田島明美様、前原清様、藤尾麻由様、川島文子様、阿久津伊津美様、高田成幸様、腰塚映江様、諸星亜弓様、根岸大海様、根岸有美子様、浅田由美子様

謝辞 および 体験談



希望の家療育病院

前原 清 様

本日はこのような立派な席にお招きいただき、そして榮譽ある賞を賜り、誠にありがとうございます。これまでご支援いただいた皆さま、それと一緒に働いてきたスタッフに感謝しております。

希望の家療育病院は、重症心身障害児(者)の福祉施設であると同時に、医療法に基づく病院であります。現在では重症心身障害児(者)の入所施設は、医療型障害児入所施設と呼ばれています。

希望の家療育病院では、医療型障害児入所施設が2病棟と、療養介護事業所が1病棟で、入所される病棟は3病棟あります。合計の病床数は132床、短期入所と呼ばれるショートステイの定員が8床、合計140床の施設です。

重症心身障害児(者)の方々を、ご存じない方もいらっしゃると思いますので、簡単にご説明させていただきます。重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態を重症心身障害といい、その状態にある子どもを重症心身障害児といえます。さらに成人した重症心身障害児を含めて重症心身障害児(者)と呼ぶことに定めています。

私は希望の家療育病院に介護福祉士として、今から22年前の1995年の春に、入職しました。1年間、介護福祉士として働かせていただいた後、希望の家療育病院で働きながら、5年間、桐生市医師会立の看護学校で看護の勉強をさせていただきました。2001年からは、看護師として働かせていただいています。

希望の家療育病院には、医師や看護師、保育士や介護福祉士、理学療法士に作業療法士、言語聴覚士に臨床心理士など、様々な職種の方が、重い障がいをもった方々に携わっています。私は主に、入所されている、重い障がいをもった利用者の方々の「療育」をさせていただいています。施設としては、入所されている重い障がいをもった利用者の他に、在宅で生活する、重い障がいをもった方々の「療育」も行っています。また、自閉症をはじめとする発達障害を持つお子さまの「療育」も行っています。

「療育」は児童福祉法にもうたわれている概念で、「治

療をしながら教育する」という意味があります。すなわち「療」とは医療あるいは治療を意味し、「育」とは養育や保育もしくは教育を意味します。

私はこれからも、重い障がいをもった利用者の方々が、少しでも幸せな生活が送れるように、少しでも普通の生活が送れるように、「療育」に携わっていきたいと思っています。

本日は誠にありがとうございました。



桐生みやま園

阿久津伊津美様

桐生みやま園しごと工房みやまの阿久津伊津美です。本日はこの様な盛大な表彰式にお招きいただき、心より光栄に思います。厚くお礼を申し上げます。

この仕事に就いた頃、自分は福祉の知識も少なく、右も左も分からない様な状態でした。おどおどと自信のない私を支えてくれたのは、温かく見守ってくれた先輩職員の方々と、そして利用者の方々の屈託のない笑顔のおかげでした。

仕事に慣れ、年月が経つうちに、幾つもの悲しい別れを体験しました。時には、もっと自分に出来ることがあったのではないかと、力になることが出来なかったと、涙することもありました。多忙で体力がもたない時や、支援に自信が持てない時、福祉の仕事辞めようかと考えた事も何度かありました。そんな時、利用者の方々とのお思い出が心に浮かび、「もう後悔することの無い様に、利用者さんが安心して暮らせる生活を守るように」と思い、仕事を続けてきました。

また、幾つもの別れを経験するうちに、利用者さんにとっての幸せとは何か？と考えるようになりました。就職当時は、「健常者には出来る事が障害のために出来ない。出来ることを一つでも増やしていくことで可能性が広がる。」そう考えていました。「可能性を増やす」という点では今も変わりませんが、もしも努力しても出来ないことだったら？卒業してから死ぬまでずっと「出来ない」ことを責められていたら？人生の終わりに「幸せだった」と思ってもらえるだろうか、と。どうせ能力を伸ばすのなら、「こうすれば分かる」という、本人の理解し易い方法を模索し、どうせなら楽しく学んだ方が身につくと思ひ、出来るだけ明るいト

ンで伝えるよう接しました。まだまだ未熟ゆえ、利用者さんに伝わっているかどうか不明ですが、利用者さん一人一人が輝いて生きて行く力になる為に、試行錯誤しながら日々を送っています。

今後一層努力を重ねていく覚悟でございますので、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

**理事会報告 2月3日**

1. 3月5日のIMは全員登録とし登録料5,000円のうち全会員から3,000円を徴収する。  
また、IM実行委員会組織表と予算案を承認。
2. 春の家族会会費は会員10,000円、ご家族(中学生以上)8,000円、お子様6,000円とする。
3. 前橋東RC創立40周年に2名登録する。
4. 納涼家族会と忘年家族会での募金は、フィリピン・マンダロンRCとのグローバル補助金等の事業が可能であればそれに充当する。
5. ロータリー手帳は希望した会員に配布する。

**(有) 奥村商店**

代表取締役 **奥村 勉**

桐生市新里町新川1968-2

TEL 0277-74-5734

**齊藤学税理士事務所**

所長 **齊藤 学**

みどり市大間々町大間々422-1

TEL 0277-32-5533

**(株)プリオコーポレーション**

統括渉外部長 **斎藤 政治**

桐生市堤町3-5-23

TEL 0277-47-4122

**赤城興産(株)**

代表取締役 **山同輝和**

みどり市大間々町大間々1558-1

TEL 0277-72-3231

**《次例会予告》**

2月17日(金) 外部卓話

NPO法人群馬ダルク 理事長 平山晶一様

〈卓話〉

**わたらせ養護園 名誉施設長 故 清水俊衣様**

「施設の日々」

**「くりかえす一つ一つの努力が  
心と社会性を育む!!」**



1986(昭和61)年10月24日

本日は12名の職員の表彰を頂きました。職員ともども感謝申し上げると共に、施設の事をご紹介致し、御礼に変えさせて頂きます。

夢を持って短大や大学を卒業して駆込んできた若い人達、又どうしてもこの施設で働きたいのどと足を何度も運んで来られた方でも、施設に勤務した3ヶ月は本当に笑えない顔をしています。その顔を私はチラッ、チラッ、と観ながら、「あゝ辛いんだなあ.....」と、思っております。そのうちに声がやっと出てくるようになります。事務所の中で、その職員の声が聞こえてきたら、もう一人前です。

ある夜、夜勤の一人がポロポロ、ポロポロ涙を流して座っていました。「どうして泣くの？」と聞きますと、「先生、私は子供が嫌いなんですか?」「先生、なんだか自分が覚えこんできたのに、私は自分の心を偽っているような気がします。私は本当は子供が嫌いじゃないのかと、今思われて眠れません.....」施設という職場はそのような出発を誰もが持っています。相当厳しい職場であると申し上げたいと思います。

親が子を施設に預けるのは悲しいことです。それをどうして施設に預けるのか?それは、今、その子にとって施設が一番幸福な場所だからなんです。不憫だと言って親がかかえこんでいても成長はありません。親と私達と県の児童相談所で、今、この子にとって一番幸福な場は何かを考え合います。そしてお預かり致します。そう信じなければ、子供がかわいそうで受けとれません。

施設には施設の使命があります。職員は親の心、子の心の全てを知って一生懸命お手伝いをしましょうということで、お手伝いをさせて頂いております。

施設長などと名がついていますが、私が一晩でも夜勤をしたら倒れるでしょう。若い20歳近い職員が一晩寝ずに40人の面倒をみて朝帰ります。「さよなら」という挨拶に「ご苦労様」と声を掛けますが、何とその顔が哀れです。疲れ果てて蒼ざめています。随分辛い仕事だと思います。親の出来ないことをしています。寝ずに子供達をお預かりしている緊張感と勤務の厳しさは、若い職員もみんな一通り蒼ざめて笑えない顔をします。しかし、それを乗り越えた職員は本当に一生懸命頑張っております。

「トー先生なんて大嫌い、いや、いや」と言って私にすねて、脱いだ靴で私を叩いてのしる子供に、カッとします。私も人間ですから。しかし、自分の胸をなでおろして「みっちゃん、みっちゃんはトー先生は大嫌いと言ったけれど先生はみっちゃんが大好きよ。本当に大好きよ」と、言いながら自分の心にも言いかけます。すると狂っていた情緒障害児のみち子がいつの間にか笑顔になっています。

どんな障害を持った子供でも可能性を持っています。自分の力があります。どの様に障害の重い子供に対しても職員はそれを信じて、どんなに時間が掛かっても根気よく、根気よく、健常児だったら自然に覚えてしまう生活の基本的習慣をささやきかけ、働きかけをして教えます。

オシッコをちびつても、良し悪しが判りません。そんな子供叱ってもだめです。「あら、また濡れちゃったの、気持ち悪いでしょ」と、一日に何度も何度も着替えさせます。ここには仕事を越えた子供への愛のささやきがあります。その愛のささやきが職業奉仕者という、ロータリーの皆様の尊い言葉となって、お誉め頂いたと感激致しております。認めて頂いた職員はいそいそと、とても嬉しそうでした。愛を持った職業奉仕者となって、自分の職場での使命をこれからも果たしたいと思っております。これからも応援して頂きたいと思っております。本日はありがとうございました。(抜粋)